

合宿でできた思い出

題名 教室名 部屋番号 生徒氏名

教室

23

ぼくはこの合宿でできた思い出は、とくに
 三つあります。まずは二つ目の思い出は、算数
 で金シールを5つとったことです。ぼくは正
 直、この合宿に行くのをためらっていません。
 なぜかというところ、私立向けの合宿から周り
 の子のレベルが高く、歯かたたないと思っ
 たりです。しかも、勉強する所が変な勉強
 時間もとても増えるからです。一回目のテス
 トでは、あまり良い成績ではありませんでし
 た。ぼくは悔しかったので、一回目のテスト

日本教育学院

の反省をふまえて二回目のテストは工夫して
 臨むことにしました。すると、一気にクラス
 の中で三番目の成績に上げることができまし
 た。そして毎回のテストで反省点をふまえて
 工夫して次のテストに臨むというのをくり
 返して、最終的に算数で金のシールを5個と
 ることができました。
 次に二つ目の思い出は、夜に部屋のみんな
 と正座をしたことです。ぼくは初日に部屋の
 人に生活面で悪い所があったら、夜に正座を

する人かよと教えられました。ほくはうそを
ついているんかと思ひ、気にかへませんか
た。しかし、二日目の夜におよとしていた
時にいきなり先生に呼びかされました。ほく
は不思議に思ひ、部屋の皆とろうかに出ま
た。すると、同じ部屋の人か言つていた通り
正座をさせられました。そして、私の先生は
自分たちかだつたところをかさしく的確
に教えられました。一つ一つの言葉か心に
き、生活面でもとても成長できました。

日本教育学院

ほくはこのことから、自分に大きな自信か
もてました。また、勉強面でも生活面でも成
長できました。

題名
自分を成長させた合宿

教室名
教室

部屋番号

生徒氏名

私がこの夏期合宿で心配していたことは二つあります。

一つ目はちゃんと期限内に宿題が終わるのか、です。出発前から宿題が足りないかなと思っ
ていました。もちろん予想通り宿題は多くなかなか終わらない日もありました。常に今日も正座になるのかな、大丈夫かな、と心配していました。しかし先生に早く起こしてもらって宿題をすることができたので正座は防
びました。なので私は最後の授業が終わったときほっ
としていました。

日本教育学院

二つ目は授業についていけないかです。集団での授業なのでまわりのペーパーが早ければ全体のペースも上がってきてしまいます。しかし、算数では先生が分からなければ質問してね、
と言ってくれたし国語では先生が熱心に解説をしてくれたので登場人物の気持ちや説明文では筆者の主張などがよく分かりました。

しかし、予想していかない怖いことがもう二

つありました。それは算数の授業内に一度説明したものをもう一回質問すると解説ノートを見せなくてはならないということでした。私は自分のノートに自信がありませんでした。なので、一回説明してもらった問題を質問したとき、ノートを見せてと言われてびっくりとしました。ノートを見せたら先生は教えてくれませんでした。でも私はまだ分かりませんでした。もう一回同じ問題を質問する勇気がなく、その場からにげ出したい気持ちになりました。

日本教育学院

。しかし、私はここになげちやダメだ、と思いきや、勇気をふりしほってもう一度質問しました。それで私はようやくその問題の解き方が分かりました。私は、ここで一歩成長できたな、と思いました。

私がこの合宿を通して学んだことは三つあります。

まず、何か大きな事でも小さな事でも、目標をもつことは大切だということです。くじけそうになつたときは、目標カードを讀

題名	教室名	部屋番号	生徒氏名
	教室		

み返して私はこう決意したんだ、と思い返してその「目標」にむかって努力しました。次に、仲間と協力することです。私は連絡委員だったのでも先生から言われた事を班員に伝えるなど大変でした。しかし、私以外の三人の友達も本当によく頑張ってくれたと思います。

最後に、スランプに落ち入っても諦めないということでした。私は二教科の成績が同時にガクニと下がった時がありました。しかし、

日本教育学院

私自身シールが取れないのかとでもとても悔しくてたくさん勉強しました。そして、最終日のテストでは二教科ともシールを取る事ができました。私はとても嬉しかったです。

この合宿で私はたくさんの経験ができたと思います。なので、この合宿に私を行かせてくれた家族のみんな、私の成長をずっと見ていてくれたお母さん先生、そして熱心に教えてくれた先生方に感謝します！

に、きょう夏期合宿

題名

教室名

教室

部屋番号

生徒氏名

名

に、きょうの夏期合宿で私は、自分の何か足りないのか、何をもうと学ばなくてはならないのか分かりました。

また、この五日間の勉強はあ、というまでした。まだ二日ほどしかた、ていないような気がします。時間が早くたつように感じるということは、いつもより緊張感を持って学習出来たからではないでしょうか。

初めに戻ると、私がこの合宿を通じて私には算数の問題を解くさいに、一問何分や回は何

日本教育学院

分などの時間配分をする力が足りないことが分かりました。それから、もうと通過算や食塩水の問題練習をした方がいいと思いました。星空観察では、カシオペア座や北斗七星がはっきりと見えましました。想像していた大きさより遥かに大きくてびっくりしました。天の川もちよつと見れました。

三日目にハイキングがあり霧に包まれている木々はなんとも幻想的で美しかったです。その日の夜は五十嵐先生が螢を取って来て下

さいました。その光に私は生命力という物を
感じました。花火に使われている「火」とい
う物は人間が見つけ出した生きる術であつた
のかもしれないと考えることが出来ました。
昔の人は火や蛍の光を使って勉強していた
ことから光の大切さは学習にも深く関わつて
いると考えることができます。
さて、勉強はというと算数ではなかなか
思うように点がとれず何度も悔しい思いをし
ました。「この悔しさをバネに東京でもかん

日本教育学院

張る！」と思えましたね。いい点かとなんか
でも「悔しい」とう思えた時に一番自分は成
長できる時ではないかと思ひます。
演芸会では、いままでたまたまっていた物を思
いっきり掃き出せました。
本当にいい合宿になりました。
お父さんお母さんこの合宿に行かせてくれ
てありがとうございます。